

令和4年度 第2回恵那市スポーツ推進審議会

日時：令和5年3月14日（火）

午前10時00分～

場所：恵那市消防防災センター

1. あいさつ

2. 会議の公開、公表について

3. 議題

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

議題2 部活動地域移行に係る補助金の交付について

4. 報告

報告1 オリンピアンによるスケート教室及びトークショーの開催について

報告2 市内在住スポーツ選手の活躍について

報告3 公共施設予約システムの導入について

報告4 令和5年度の主な取り組みについて

5. その他

恵那市こども園幼児の体力・運動能力の推移について（酒井先生）

6. 閉会のあいさつ

令和4年度 恵那市スポーツ推進審議会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	役職	備考
1	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	三 宅 祥 市	会長	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会会長
2	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	酒 井 俊 郎	副会長	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科教授
3	中京学院大学経営学部	横 谷 淳	委員	中京学院大学経営学部専任講師
4	恵那市障害者団体連絡協議会	三 宅 弘 文	委員	恵那市障害者団体連絡協議会会長
5	恵那市地域自治区会長会議	瀬 瀬 佳 恭	委員	飯地地域自治区会長
6	(株) アクトス	磯 村 信 雄	委員	(株) アクトス 管理部部長
7	(公財) 恵那市体育連盟	山 本 好 作	委員	(公財) 恵那市体育連盟会長
8	恵那市医療福祉部	加 藤 真 治	委員	恵那市医療福祉部長
9	恵那市教育委員会	西 尾 朋 子	委員	副教育長
10	恵那市小中学校校長会	丸 山 成 之	委員	岩邑中学校校長
11	恵那市こども園長会	安 藤 美 香 子	委員	大井こども園長

【事務局】

1	教育委員会事務局長	長 谷 川 幸 洋	
2	医療福祉部 健幸推進課長	瀬 瀬 雄 二	
3	教育委員会事務局 スポーツ課長	服 藤 知 晃	
4	教育委員会事務局 スポーツ課課長補佐	加 藤 友 美	
5	教育委員会事務局 スポーツ課課長補佐	柘 植 篤 志	
7	(公財) 恵那市体育連盟 専務理事	三 浦 幸 慈	
8	(公財) 恵那市体育連盟 事務局長	大 嶋 卯 巳	

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和5年2月末現在）	今後の取り組み又は課題
1 健康づくり	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康増進を目的として、運動やスポーツを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング等の手軽な運動（有酸素運動）が健康増進につながることは、広く認知されている。（87.8%） ・意識的に普段から歩こうとしたり、今後ウォーキングに取り組みたいと考えている方が多い。（78.5%） ●運動やスポーツの実施状況の低迷 <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、36.6%。国（53.6%：令和元年度）や県（47.7%令和元年度）より低い状況である。 ・運動やスポーツが思うようにできない理由としては、仕事（家事、育児）が忙しく時間がないという理由が最も多い。（31.6%） ・働き世代の30歳代のスポーツ実施率が低い。 ・中高年の運動・スポーツ活動の推進、初心者向けのスポーツ教室の充実が求められている。また、高齢者や障がい者の方にとって、手軽な運動は交流や社会参加のきっかけとしても期待されている。 ●高齢化の進展や生活習慣病の増加が懸念 <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市は、全国や県と比較して高齢化率及び後期高齢化率が高い。 ・生活習慣病の受療率が県内他市と比較して高く、認知症や寝たきりなどの要介護者の増加、介護支援者の負担増加が懸念される。 ●新型コロナウイルス感染防止を念頭に置いた運動・スポーツの取り組みが必要 <ul style="list-style-type: none"> ・運動スポーツの活動時のみではなく、普段の利用時においても感染防止を図る必要がある。 ・運動・スポーツを安全に行うには、一人ひとりの感染防止の意識と施設や競技ごとの感染防止対策の徹底が求められる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎運動やスポーツを始めるきっかけづくりが必要。 ◎ウォーキングなどの身近な運動に取り組む。 ◎自身のライフスタイルに合わせて運動・スポーツに親しむことが大切 ◎健康寿命の延伸を図る。 ◎障がいの有無に関わらず、全ての人が運動・スポーツに親しむことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民一人ひとりが運動・スポーツに親しむことが重要。 ●運動・スポーツを始めるきっかけが多く、身近な場所で、自身のライフスタイルに合わせて取り組むことができるまちを目指す。 ●年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人が健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ実施率 H26 R2 目標値（R7） 36.0% ⇒ 36.6% ⇒ 42.0% ●積極値に歩いている人の割合 H26 R2 目標値（R7） 21.1% ⇒ 24.3% ⇒ 33.0% ●健康であると感じている人の割合 H26 R2 目標値（R7） 77.9% ⇒ 77.1% ⇒ 82.0% ●スポーツ実施者数 R2 目標値（R7） 360,738人 ⇒ 363,000人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・プチ講習でのノルディックウォークや歩き方講座を開催した。3回 参加者：17名 ・11月に「清流の国ぎふ・1ヶ月ウォーキングチャレンジ」開催。（県実施） ●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢を健診対象者の16歳以上に引き下げて実施。3歳から中学生には別に運動の取り組みメニューを実施。子どもから大人まで運動・スポーツをする動機付けをした。 応募件数：518件 応募者：294名（2月28日現在） ※うち、3歳以上16歳未満の応募件数：46件 ●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ・運動なんでも相談窓口」では、相談件数が13件。新たな事業を企画したい、指導者の紹介をしてほしい、教室の情報や団体情報等を教えてほしいといった相談があった。 ・年2回市内全戸配布する体育連盟広報誌において、種目団体や地区体育協会のコーナーを設けて活動紹介を行った。また、各号で、何かをしながら手軽にできる「ながらエクササイズ」を紹介した。 <p>【その他の健康づくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・健幸推進課、包括支援センターと連携をとり、山岡健康増進センター及びまきがね公園体育館健康体力センターを利用して、健康教室を開催している。 ・「ココトレチャレンジ」4月～2月 延べ89名参加 ・プチ講習の実施（毎週金曜日） 1回30分の筋トレ、ストレッチボールなどのトレーニング講習を開催している。63回開催 延べ469名参加 ・まきがね健康運動教室の実施（毎週木曜日）42回開催 延べ312名参加 ○「まきがねde社員も会社も健康増進」事業 <ul style="list-style-type: none"> 事業所ぐるみでの健康体力センター利用を、恵那商工会議所とも連携をとり、市内企業へ呼びかけた。 市内外11事業所から採用され、社員及びその家族に対して、健康体力センター利用が可能となった。2月末現在で健康体力センター回数券の販売枚数が前年比較で約1.65倍となっている。 ○2022健幸フェスタinえなの開催 <ul style="list-style-type: none"> 10月9日（日）まきがね公園にて開催した。会場では、健康、福祉、スポーツ部門の関係団体による展示啓発や体験を行い、2,000人の参加があった。スポーツ部門では、スポーツ体験や体力測定のほか、小学生を対象にしたスポーツ能力測定会を実施し、83人の参加があり好評であった。 ○高齢者の健康・体力づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・壮健クラブにて軽スポーツや体力測定を実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。しかし、対策強化宣言の解除もあり、新体育競技として「ポッチャ」を取り入れる。競技ルールの説明会を開催し、各地区でも手軽にできるよう進めている。 11月9日、まきがね体育館でポッチャ講習会を開催。20名参加。 2月9日、恵那市福祉センターでポッチャのルール説明会及び体験会 25名参加 ○障がい者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により2年間開催が見送られていたが、感染者が減少したため、関係者による会議を3回開催し、スポーツ交流会を計画した。 10月23日、恵那市障がい者スポーツ交流会ポッチャ体験会を開催。6チーム、36人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> ・市内で開催されるウォーキング大会を市民メール等で紹介する。 ●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> ・令和4年度は、市公式アプリ（え～なび）でポイントラリーを実施したが、予想以上に参加者数が少なかった。令和5年度は、紙面と同様の申し込みをアプリでも出来るよう、より参加しやすいプログラムへの変更を検討する。また、岐阜県のポイント事業の啓発を併せて行う。 ●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> ・窓口やHP、広報誌等を活用し、スポーツに関して気軽に相談できるよう周知していく。 ・（継続）体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体の会員獲得のため、会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRする。 ・年2回発行の体育連盟広報紙で競技種目団体や地区体育協会の取り組みを紹介する。 <p>【その他の健康づくり施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> ・体育連盟の広報誌にて自宅でできる健康運動の紹介や各種教室の紹介を実施する。 <課題> ・各種教室において、新規参加者を増加させる取り組みが必要である。 ○高齢者の健康・体力づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <課題> ・依然として新型コロナウイルス感染症の影響により活動が低下しているが、令和5年5月より感染症法上、5類に移行されるため、感染者の状況を見極めながら、まずはコロナ前のように軽スポーツや体力測定などを再開できるよう計画や呼びかけが必要である。 ○障がい者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> ・身体障害者東濃ブロック大会→感染症対策のため、中止決定次年度の交流会についての検討を行う。 ・<課題> 事業を計画するが、参加者が少ないため、多くの方に参加していただけるような工夫が必要。

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和5年2月末現在）	今後の取り組み又は課題
2 子どもの健全育成	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運動・スポーツをする人は、子どもの頃から運動をしている ●運動やスポーツをすることは好きな人の割合は、子どもから大人に成長するにつれて減少傾向にある。 ●子どもの頃に運動が好きだった人は、大人になっても運動やスポーツが好きである傾向がある。 ●青少年の心身の健全育成が求められている ●家族とのコミュニケーション不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域での人間関係の希薄化、地域活動への関心の薄れなどが問題である。 ●保護者の生活習慣と子どもの生活習慣は密接に関連している。保護者の生活習慣を見直し、子どもの健全な育成・発達をささえていくことが必要。 ●子どもたちの遊び場の環境変化 ●スマートフォン・家庭用ゲーム機の普及や安全性の観点などから、屋外で遊ぶ子どもの姿が少なくなってきた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎乳幼児期から身体を動かす楽しさを知ることが大切。 ◎運動やスポーツを楽しみながら続けられる環境が必要。 ◎運動・スポーツを通じて、身体だけでなく心の成長を促すことが大切。 ◎子どもたちが安心・安全に遊べる環境づくりが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが運動・スポーツを心から楽しむことが重要。 ●乳幼児期から親子で身体を動かし、身体を動かす楽しさを体感することができるまちを目指す。 ●子どもたちが豊かな自然の中や多様な人間関係の中で、運動・スポーツを通じて人と人とのつながりや思いやりをも体感することができるまちを目指す。 	<p>●運動・スポーツが好きな子どもの割合</p> <p>【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 62.7% ⇒ 66.5% ⇒ 75.0%</p> <p>【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 52.0% ⇒ 54.9% ⇒ 63.0%</p> <p>●子どものスポーツ実施率</p> <p>【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 62.5% ⇒ 68.2% ⇒ 79.0%</p> <p>【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 76.8% ⇒ 80.9% ⇒ 90.0%</p>	<p>●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こども園運動プログラムでは、全園（14園）へ体力測定機器を配備し、いつでも測定できる環境を整え、5～6月に各園で体力測定を実施した。 ●参加者：726名 ●こども園運動遊び交流会を8～11月に全14園で実施した。 ●参加者：252名（うち保護者の参加者131名） ●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児の親子を対象にした運動遊び行事を毎月実施し、乳幼児期に体を動かす楽しさを感じてもらおう工夫をしている。 5月 ふれあい遊び 参加者：親子 9組21名 5月 はじめてのリトミック（山岡支C） 参加者：親子 8組 7月 夏祭り 参加者：親子 20組42名 7月～8月 水遊び 8月 夏祭り(恵南) みんなでフラダンス 9月 体をつかって遊ぼう 参加者：親子11組22名 9月 親子エアロビ（やまびこ支C） 参加者：親子 7組15名 10月 ベビーマッサージ（山岡支C） 参加者：親子 6組 10月 親子体操 参加者：親子12組27名 11月 親子ヨガ 参加者：親子 8組16名 ●こども園年長対象のキッズサッカー教室開催した。 5回 参加者：152名 <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室の実施 ●オリンピックによるかけっこ教室 ●陸上100m走元日本記録保持者の青戸慎司氏を招き、5から9月までに、市内全14校でかけっこ教室を実施。 ●小学3～6年生を対象、714名の参加。 ●講演を希望した5校では、かけっこ教室後に講話を実施。 ●11月5日に市内小学生への公募による教室を開催。子ども107名・保護者70名の参加。 ●参加者へアンケートを実施し、「足が速くなった」「楽しかった」と好印象だった。 ●恵那市スポーツ少年団交流会実施事業 ●5月4日、15日野球 参加者約200名、 ●9月3日、10日野球 約200名 ●10月9日新規団員 延べ250名 ●10月16日野外活動 約65名 ●12月10日スケート 約84名（7単位団） ●12月～1月 体力測定の実施 9単位団 ●2月26日サッカー 約120名（7単位団） ●東濃地区スポーツ少年団交流会実施事業 ●5月29日 ウォークラリー 市内岩村町で実施 参加者約60名（土岐市・恵那市より参加） ●8月7日野球 ※コロナ感染症拡大により中止 ●11月12日指導者資質向上研修会 17名参加（内恵那市1名） ●12月3日駅伝 大井町スポ少約20名参加 ●1月7日スケート 瑞浪市・中津川市より59名の参加 ●中学生トレーニング教室 ●中学生を対象に、各種目で必要となる動きづくりを指導する「中学生トレーニング教室」を開催している。 ●4月～2月 毎週水曜日 42回255名参加 ●市内小学校5年生の児童及び中学2年生の生徒を対象に運動実施率を把握するため、アンケートを8～10月に実施した。 ●回答者：729名（回答率90.7%） <p>○スケート場の利用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●初心者インラインスケート無料教室3回 153名参加 ●キッズサッカー教室5回 152名参加 ●夕涼みインライン3回 912名参加 ●学校スケート教室：11月～2月、市内小中学校に呼びかけ、授業にスケート教室を取り入れることでスケートに慣れ親しむことのできる環境づくり ●無料スケート教室：12月18日、1月29日、それぞれ2回ずつ実施（延べ121名） ●フィギュアスケート教室：12月13日から10回実施（延べ257名） ●アイススケートイベント：オープンイベント（117名）、クリスタルデー（1,239名）、クリスタルクリスマス（634名）、最終日感謝イベント（276名）を実施 <p>※令和3年度スケート場利用者数：夏季 7,182名 冬季 37,238名 年間 1,662名 計 46,082名</p> <p>令和4年度スケート場利用者数：夏季 8,930名 冬季 31,547名</p>	<p>●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト</p> <p><取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ●こども園全園（14園）では、引き続き体力測定と、保護者も参加する運動遊び交流会を実施する。 ●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児親子を対象とした運動遊び行事を年間を通して計画実施していく。 ●大井児童センターでは、赤ちゃん教室の中で体を動かすお話やリトミックを実施している。 ●中野児童センターでは随時体力測定を実施しているほか、卓球体験、ポッチャ体験を実施している。 <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室の実施 <取り組み> ●引き続き、青戸慎司氏によるかけっこ教室を全小中学校で実施する。 ●また、小中学生を対象とした運動・スポーツ教室も継続して実施する。 ●市内・市外交流会では、競技に偏らず、年間を通して参加をしていただけるよう、交流会の内容、実施時期について、指導者・担当者の参加意欲を高めるものとなるよう検討を重ね、広報に努め、多くの参加を募りたい。 ●今年度、東濃地区スポーツ少年団新規事業として、「スタートコーチ養成講習会」が開催されたが、今後の指導者の拡充のため、引き続き、東濃地域及び県内で開催される講習会及び研修会への参加を促し、指導者不足を解消していきたい。

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和5年2月末現在）	今後の取り組み又は課題
3 コミュニティづくり	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運動・スポーツを通じた地域交流に期待 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた、仲間・友人づくり、生きがいづくり、地域の絆を深めるコミュニティの活性化を期待している。 ・「年齢に関係なく」「地域と交流したい」という理由で、子どもから大人まで一緒になって運動・スポーツをする機会があれば参加したいという意見が多い。（23.8.%） ・子どもたちの多くが、地域の友だちや大人と一緒に運動やスポーツをしたいと考えている。（小学生：53.3% 中学生：73.7%） ●地域における運動・スポーツの担い手が求められている <ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ活動の担う人材・団体として、（公財）恵那市体育連盟、恵那市スポーツ推進委員、恵那市地域スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、地区体育協会などがある。 ・地区体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブが企画・運営するイベントへの参加者数は減少傾向にある。 ●ライフスタイルの変化に伴い地域のつながりが希薄化 <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルの都市化が進み、地域のイベントや行事に参加する人が減少している。 <p>【課題】</p> <p>◎地域にける運動・スポーツ活動を活性化し、地域の交流を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティの核となる組織や場所などの資源を活用することが重要。 ●指導者や大会ボランティアなど様々な立場から「ささえる」人を増やし、ささえる人同士のコミュニティづくりが重要 ●各地域で活動しているスポーツ推進組織に活力があり、コミュニティセンターや学校開放施設などを拠点として、運動・スポーツを通じて地域の交流や絆が生まれるまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●世代を超えたスポーツ機会への参加意向 H26 R2 目標値（R7） 29.2% ⇒ 23.8% ⇒ 30.0% ●総合型地域スポーツクラブ主催イベント参加者数 H26 R2 目標値（R7） 12,699人 ⇒ 14,667人 ⇒ 17,000人 ●イベントボランティア数 R2 R7 1,055人 ⇒ 1,100人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から継続してスポーツを始めたい方、再開したい方等気軽に相談できる窓口を随時受付中。 相談件数 15件 ・スポーツ教室 小学生から大人までを対象とした弓道、バドミントン、スキー教室を開催 弓道教室 10名参加 バドミントン教室 19名参加 スキー教室 40名参加 ・ウォータースポーツ教室 東京オリンピック事前キャンプ地としてポーランドカヌーチームが利用した笠置峡は、穏やかな水面のため、水辺のスポーツ初心者でも安心して取り組める環境であり、それを有効活用するため、カヌー(2回)、SUP(2回)、ボート(1回)の3種類の教室を企画したが、天候不良や上流からのダム放流によりSUP並びにボート教室は実施できず、カヌー教室2回の実施となった。74名が参加。 ・スケート場での教室 インラインスケート教室 3回 153名参加 キッズサッカー教室 5回 152名参加 学校スケート教室：11月～2月 無料スケート教室：12月18日、1月29日、それぞれ2回ずつ実施（延べ121名） フィギュアスケート教室：12月13日から10回実施（延べ257名） ・市民体育大会の開催 全21種目を実施予定のうち、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら2月までに17種目実施、3月に1種目開催予定。 6月19日 陸上競技（250名） 8月21日 剣道（20名）、卓球（50名） 8月28日 ソフトボール（54名）、クレール射撃（54名）、ソフトテニス（47名）、弓道（19名） 9月18日 バスケットボール（100名） 10月8日 マレットゴルフ（64名） 10月9日 軟式野球（139名） 10月13日 ゲートボール（48名） 10月16日 ママさんバレー（42名） 10月30日 アーチェリー（5名） 11月13日 バドミントン（50名） 11月27日 駅伝（170名） 1月15日 スケート（110名） 2月12日 スキー（32名） 3月25日 柔道 ・各地区体育協会等では、コロナ感染症対策を講じてスポーツイベントを行った。 大井町スポーツ協会 10月30日 町民ポッチャ大会 35名 11月 6日 町民ポッチャ大会 35名 1月22日 ノルディックウォーキング 12名 長島町体育協会 5月20日 マレットゴルフ大会 20名 10月22日 ポッチャ指導者講習会 10名 11月 5日 ポッチャ体験会 10名 東野体育協会 6月26日 健幸エクササイズ 32名 12月 4日 ふれあいウォーキング 40名 三郷町体育協会 5月 8日 インディアカ大会 40名 6月12日 ソフトバレー大会 55名 7月24日 マレットゴルフ大会 13名 10月16日 体力測定会 10名 11月13日 ソフトボール大会 61名 11月13日 スポンジテニス大会 27名 中野方体育協会 5月29日 マレットゴルフ大会 50名 飯地町体育協会 5月28日 町民ゴルフ大会 11名 6月25日 町民ソフトバレー大会 20名 11月12日 町民ゴルフ大会 9名 11月19日 町民ソフトバレー大会 10名 1月28日 町民ボーリング大会 24名 岩村町体育協会 6月12日 体力テスト 40名 明智町体育協会 10月30日 町民ソフトボール大会 120名 10月30日 町民ソフトバレー大会 100名 串原体育協会 6月25日 ささゆりウォーキング 59名 10月 1日 串原園小中住民運動会 187名 	<ul style="list-style-type: none"> ●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、スポーツ教室では、市内小学校へチラシ配布、広報等での記事掲載を行い、多数の参加を募りたい。 ・各地区体育協会や地域ごとのスポーツイベントを開催する。 ・体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体での会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRする。 ・スポーツ推進委員連絡協議会では、軽スポーツの体験や研修を行い、地域への普及を図る。 ・スポーツを始めるきっかけ作りとして各種スポーツ教室を実施する。 ・ウォータースポーツ教室は継続開催し、水辺のスポーツを提供できる機会を市民に提供する。天候不平等により開催できない場合の予備日を設定し、より多くの市民に水辺のスポーツを体験してもらう機会を提供する。 <課題> <ul style="list-style-type: none"> 地区体協の事業及び市民体育大会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、運営スタッフ、参加者の確保が課題である。 ・ポストコロナに向け、各町のスポーツイベントについて再開していけるよう助言する。

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和5年2月末現在）	今後の取り組み又は課題
				<ul style="list-style-type: none"> ● 「ささえる」プロジェクト 10月9日に開催した健幸フェスタにて、日本大正村クロスカントリー大会及び恵那峡ハーフマラソン大会のボランティア募集の案内を行った。 【その他コミュニティづくり施策】 ○ 総合型地域スポーツクラブの活性化 総合型地域スポーツクラブの会員数 えなイースト 284名 あけちクラブ 178名 福寿の里 79名 主なイベント えなイースト：バレー、卓球、ダンス等教室 あけちクラブ：貯金運動、インラインスケート、ゴルフ教室等 福寿の里：フットゴルフ体験会、ソフトバレー大会 飯中笠クラブ：カヌー教室 ○ スポーツ団体PR事業 認定生涯学習活動団体や恵那市体育連盟加盟団体の活動状況やPR等の情報を恵那市ウェブサイトに掲載した。 2月末現在 28団体 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ささえる」プロジェクト <取り組み>。 ・ 市内で開催されるスポーツイベント等に、ささえるボランティアへボランティア募集の案内を行う。 【その他コミュニティづくり施策】 ○ 総合型地域スポーツクラブの活性化 <取り組み> コロナ禍でも参加しやすい教室等内容を検討 <課題> 会員の減少 役員、指導者不足

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和5年2月末現在）	今後の取り組み又は課題
4 観光交流	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光まちづくりに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市には、恵那峡や奥矢作湖、中山道、岩村城址と街並み、日本大正村などの観光地を抱える都市である。 ・観光資源を活用し、交流人口を拡大させ、地域のにぎわいの創出、消費の拡大、雇用の場の確保など、地域の活性化に取り組んでいる。 ●スポーツと融合できる観光資源 <ul style="list-style-type: none"> ・木曾川でのボート・カヌー体験、笠置山でのボルタリング、明知鉄道とタイアップしたウォーキングイベントなど観光資源を活用したイベントが行うことができる。 ・着地型体験コンテンツを目的として恵那市に訪れる交流人口が増加傾向にある。 ●スポーツツーリズムが注目 <ul style="list-style-type: none"> ・旅でスポーツを楽しむといった、スポーツと観光を融合し、新しい価値・感動の提供をめざす「スポーツツーリズムが全国的に活発している。 ・恵那峡ハーフマラソン、日本大正村クロスカントリーには、毎年多くの参加者がある。特に市外からの参加者が多い。 <p>【課題】</p> <p>◎観光資源と運動・スポーツの融合を図り、運動・スポーツを通じて交流・活力・にぎわいを生み出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然や文化が織りなす豊富な観光資源を、いかに運動・スポーツと融合させるかが重要。 ●自然や文化を生かしたスポーツ交流が数多く生まれ、運動・スポーツや観光を目的として多くの人が訪れ、活気やにぎわいに満ちたまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ交流人口数 R2 目標値（R7） 13,425人 ⇒ 26,000人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・まきがね公園、山岡・明智B&G等のスポーツ施設で、スポーツ合宿を受け入れた。 28件 967名 ・まきがね公園、山岡・明智B&G等のスポーツ施設の予約状況をHP上に掲載し、合宿利用申し込み者の便宜を図った。4月に市によるスポーツ施設等ドローンガイドライン制定により、 ・笠置峡ボート・カヌー場での実業団チームの合宿 中部電力ボート部 8月11日～14日 明治安田生命ボート部 8月11日～20日 ●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・スケート場で遊んだ後、恵那市を観光してもらうため「どこいくマップ」を配布。 ・インターネットサイト「アエルサイト」にて、カヌー体験や宿泊施設などの情報発信を行った。 ・サイクルツーリズム普及促進事業 休憩、修理等ができるサイクリングステーションの設置に向け調整を行っている。 <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポーランド共和国との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・7月30日 ポーランドカヌーチームオリンピック事前キャンプ記念碑設置式典開催。 ・3月9日 恵那北中学校卒業式に駐日ポーランド共和国特命全権大使が参加。 ○ウォータースポーツ教室 <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック事前キャンプ地としてポーランドカヌーチームが利用した笠置峡は、穏やかな水面のため、水辺のスポーツ初心者でも安心して取り組める環境であり、それを有効活用するため、カヌー(2回)、SUP(2回)、ボート(1回)の3種類の教室を企画したが、天候不良や上流からのダム放流によりSUP並びにボート教室は実施できず、カヌー教室2回のみの実施となった。74名が参加。 ○オリンピック交流事業 <ul style="list-style-type: none"> フィギュアスケートオリンピックである村上佳菜子氏によるスケート教室及び講演会を恵那市文化振興会と共催で1月15日に開催した。 ○第37回日本大正村クロスカントリー <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策を施し、3月19日(日)に4年ぶりに開催するため、準備を進めている。16都府県から1,279名のエントリーがあった。 ○第20回記念恵那峡ハーフマラソン大会 <ul style="list-style-type: none"> 4月16日(日)に4年ぶりに開催するため、準備を進めている。27都府県から1,572名のエントリーがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> <ul style="list-style-type: none"> ・ジバスクラム恵那、観光協会、体育施設、宿泊施設が連携し、大学や実業団への共同プロモーション活動を実施する。市内のスポーツ合宿受入可能な宿泊施設と、競技場や体育館などを合わせた一体的な情報発信をウェブサイトやSNSを活用して強化を図る。 ・<課題> <ul style="list-style-type: none"> 中長期的には、給食や送迎など合宿に必要なサービスを提供する事業者に対し支援を図ることが求められる。 スポーツ合宿を通じて、関係人口を増加させるため、市民と大学や実業団が交流するスポーツ教室などの機会の開催に繋げる。 ●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> <ul style="list-style-type: none"> ・ジバスクラム恵那による市内事業者と域外事業者の引き合わせ、コラボレーションによる事業実施に取り組む。 引き続き、事業者や旅行会社がアクティビティを造成する際に必要な経費の一部を補助する。 <課題> <ul style="list-style-type: none"> 森林アクティビティや水辺アクティビティなど、地域資源を活かした着地型体験コンテンツを磨き上げ、持続可能で稼げる常設型のコンテンツや旅行商品とする取り込みが必要である。 <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック交流事業について <ul style="list-style-type: none"> <取り組み> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックゴールドメダリストの小平奈緒氏と、小平氏のコーチである結城匡啓氏を招き、スケート教室とトークショーを開催する。

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和5年2月末現在）	今後の取り組み又は課題
5 競技力向上	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●競技スポーツへの関心高まり <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月、9年ぶりの国体スピードスケート競技が開催され、市民のスポーツに対する関心が高まった。 ・令和3年度に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定により、人々のスポーツに対する関心は今後も高まる。 ●子どもたちは、スポーツへの意欲・やる気がある <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、「スポーツが上手になりたい」「試合に勝ちたい」「よい記録・結果を出したい」という意欲・やる気がある。 ・世界を舞台に若いアスリートが多く活躍している。年齢を感じさせない彼らの活躍や努力を惜しまぬ姿勢は、子どもたちの憧れ・目標である。 ●（公財）恵那市体育連盟のスポーツ指導者の登録 <ul style="list-style-type: none"> ・（公財）恵那市体育連盟は、市民の体力向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、スポーツの普及振興を推進している。 ・同連盟には、種目別、地域別に多くのスポーツ指導者が登録されており、子どもから大人まで、地域のスポーツ力の向上を支援する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎質の高い技術・技能を持つスポーツ指導者を育成する。 ◎子どもたちの意欲・やる気を伸ばす。 ◎トップアスリートを育て、支えていく仕組みを築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「上達したい」という意欲・やる気を大事にして、感動や興奮を与えてくれる競技スポーツ・トップアスリートとのふれあえる機会が多く、質の高い技術指導が受けられることができ、地域全体でアスリートを支える体制の整ったまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの「上達したい」意欲・やる気 <ul style="list-style-type: none"> 【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 52.0% ⇒ 42.7% ⇒ 52.0% 【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 50.2% ⇒ 40.2% ⇒ 51.0% ●国際大会出場選手 <ul style="list-style-type: none"> H26 R2 目標値（R7） 0人 ⇒ 1人 ⇒ 3人 ●競技人口 <ul style="list-style-type: none"> R2 目標値（R7） 4,200人 ⇒ 4,200人 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者・ボランティア名簿を体育連盟ウェブサイトに掲載し、活躍する場を提供している。 登録者数 81名 ※スポーツ指導者：59名 ボランティア：22名 ●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者に対し、各種講演会、講習会などの案内を送付し、指導者として知識・技術の習得の場を提供した。 指導者バンク登録者の各種資格取得の支援を実施している。 ・2月5日に恵那市スポーツ指導者養成講習会（兼）恵那市スポーツセミナーを中部大学生命健康科学部 酒井教授を招聘し開催した。29名参加 <p>【その他の競技力向上施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スピードスケート選手強化育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ワールドクラス、全日本クラスの選手2名（石川将之、遠藤二千翔）を恵那市体育連盟で雇用し、競技力向上と後進の指導にあたりとともに、国体を始め、全国レベルの大会での活躍を紹介しスケートへの関心を高める。また、大会において地元選手との交流や技術指導を受けることにより、選手の競技力向上を図る。 ・5月4日、2名の強化選手によるスケート教室を実施し、地元恵那市のスケート選手44名に対し、全日本クラスの滑りを指導した。 ・12月2日より恵那市で開催された、全日本選抜大会において、恵那市体育連盟所属の石川将之が1000m、1500mの2種目で優勝、遠藤二千翔がマスタートで優勝、5000mで2位と地元大会を盛り上げた。 ・1月12日よりアメリカで開催されたFISUワールドユニバーシティゲームスピードスケート男子5000mに恵那市体育連盟所属の遠藤二千翔が日本代表として出場し、体調不良の中15位と健闘した。 ・1月28日より青森県で開催された国民体育大会スピードスケート競技会成年男子5000mにおいて、遠藤二千翔が大会新記録で優勝、石川将之が成年男子1500mで7位入賞と健闘した。 ○トップアスリートとの交流の機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・8月13日、トップ実業団である明治安田生命、中部電力、トヨタ紡織、デンソー各ボート部によるボート教室を企画したが、台風接近によるコンディション悪化で中止とした。 ・11月5日、小学生を対象に、100m走元日本記録保持者である青戸慎司氏によるかけこ教室を実施した。全てのスポーツの基本となる走り方の指導を受けることにより、体力、競技力向上への意識付けを図った。 ・1月15日にプロフィギュアスケーターの村上佳菜子氏によるスケート教室を開催し、普段のスケート教室では少数である女の子の多数の参加があった。 ・国体や恵那で開催する全日本競技会などの場で、スケート強化選手と地元選手の交流や合同練習を行った。 ○大学との連携によるスポーツ指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・10月15日に中京学院大学卓球部による卓球教室を開催した。初心者 45名参加、経験者 11名参加 ・12月3日に中京学院大学ソフトボール部によるソフトボール教室を開催した。初心者10名、経験者（指導者含）15名参加。 ・2月11日に中京学院大学硬式野球部による野球教室を開催した。小学生37名、中学生31名、指導者34名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト<課題> <ul style="list-style-type: none"> ・若い年代の指導者が少ない。 ・指導者を地元以外の地域から派遣することが難しい。 ・指導者と指導を求める側の条件のミスマッチがある。 ●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト<取り組み> <ul style="list-style-type: none"> ・3月に名古屋グランパス栄養アドバイザーの森裕子氏による「子どものためのスポーツ栄養セミナー」を計画している。 <p>○スピードスケート選手強化育成事業<取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、岐阜県の優秀選手活用事業の委託を受け、体育連盟所属選手として、2名のスピードスケート強化育成選手として雇用し、選手の活躍を見せるとともに、恵那のスケート選手強化育成のため、世界で戦える技術指導を行う。 <p>○トップアスリートとの交流の機会の充実<取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年1月に、平昌オリンピックゴールドメダリストの小平奈緒さんを迎え、スケート教室と講演会を開催する。 ・かけこ教室の講師でもある、日本人男子初、夏冬オリンピック出場の青戸慎司氏による中学生陸上部を対象としたスプリント教室を開催する。 <p>○大学との連携によるスポーツ指導の充実<取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中京学院大学など近隣大学と連携し、大学が強化を図っているスポーツ部の指導者や選手を招き、部活動を行う中学生に専門スポーツ教室を開催する。

議題2 部活動地域移行に係る補助金の交付について

1. 補助金名 恵那市学校部活動地域移行支援補助金交付要綱

2. 概要

令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁より「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定された。国ガイドラインでは、休日における中学校部活動の地域移行について、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として位置付けられた。

また、県では「岐阜県中学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を令和5年3月に策定予定である。県ガイドラインでは、令和7年度末までにすべての学校部活動の休日の活動を新たな地域クラブ活動へ移行することを目標としている。

市では、令和7年度末までに休日における中学校部活動の地域移行を推進するため、学校と連携し生徒のスポーツ・文化芸術活動の場として、新たに地域クラブ活動を行う団体（以下「地域クラブ活動団体」という。）に対し、予算の範囲内において、恵那市学校部活動地域移行支援補助金を交付する。

3. 内容

・地域クラブ活動団体の要件

- (1) 指導者を確保していること。
- (2) 活動の維持・運営に必要な範囲で、会費を徴収していること。
- (3) 地域クラブ活動団体と学校との間で連携を図るとともに、岐阜県教育委員会が定める岐阜県中学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインを遵守し、適切に活動を行う者であること。

・補助対象者

休日に中学校部活動を行っている生徒を対象として令和5年4月1日以降に新たに地域クラブ活動を行う者。

- ・補助対象経費

 - 報償費、旅費、事務費、研修費、事業費

- ・補助期間及び補助金の額

 - 補助期間 3年間

 - 補助金の額 1年目10万円以内、2年目6万円以内、3年目4万円以内

4. 市内の状況

市内の中学校部活動はスポーツ・文化あわせて68あり、そのうち休日における部活動が地域移行されていないのは、次の2つである。

(1) 上矢作中学校卓球部

令和4年6月に学校から保護者へ説明を行った。地域の協力もあり指導者が確保できたため、令和5年4月から休日部活動を地域移行する。

(2) 串原中学校卓球部

令和4年12月に学校から保護者へ説明を行った。令和5年度中に休日の部活動の在り方について検討し、令和6年度から休日部活動を地域移行することを目標とする。

5. その他

市では、18歳以下の団体が使用する場合は、会場使用料及び附属設備（照明、冷暖房等）使用料を免除としている。

スポーツ基本法（抄）

（地方公共団体の補助）

第三十四条 地方公共団体は、スポーツ団体に対し、その行うスポーツの振興のための事業に関し必要な経費について、その一部を補助することができる。

（審議会等への諮問等）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体（社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）第十条に規定する社会教育関係団体をいう。）であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあっては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かななければならない。この意見を聴いた場合においては、同法第十三条の規定による意見を聴くことを要しない。

報告1 オリンピアンによるスケート教室及びトークショーの開催について

令和5年1月15日（日）に、ソチオリンピックフィギュアスケート日本代表として出場した、村上佳奈子氏を招き、クリスタルパーク恵那スケート場にてスケート教室を、恵那文化センターではトークショーを開催しました。

スケート教室では、市内小学生40人が4つのグループに分かれて村上さんから丁寧な指導を受け、またスケート教室の観覧者は200人でした。トークショーは355人が参加し、オリンピックでの体験談やストレッチなどを交えて、参加者は楽しい時間を過ごしました。



スケート教室の様子



トークショーの様子

報告2 市内在住スポーツ選手の活躍について

1. 全国大会優勝

大会名 特別国民体育大会冬季大会「未来へつなぐ八戸国体」スケート競技会
 スピード競技
 開催日 令和5年1月30日～2月2日
 会場 YSアリーナ八戸（青森県八戸市）
 種目 成年男子5000M 優勝
 所属 恵那市体育連盟
 選手 遠藤 二千翔（三郷町）



2. 全国大会等出場選手

（令和4年度11月から2月末までに激励会を開催した方）

大会名	種目	所属	氏名	地区
2022/2023 全日本選抜スピードスケート競技会 恵那大会	スピードスケート	恵那市体育連盟	石川 将之	三郷町
2022/2023 全日本選抜スピードスケート競技会 恵那大会	スピードスケート	恵那市体育連盟	遠藤 二千翔	三郷町
FISU ワールドユニバーシティアゲームズ（2023/レークプラシッド）				
全国高等学校総合体育大会 第72回全国高等学校スケート競技選手権大会	スピードスケート	中京高等学校	細井 勇大	岩村町
		中京高等学校	鈴木 義人	岩村町
		恵那農業高等学校	田口 陽基	武並町
		恵那農業高等学校	西尾 義靖	岩村町
		恵那農業高等学校	伊藤 愛	岩村町

大会名	種目	所属	氏名	地区
スポーツエアロビック第18回全国フライト選手権大会	エアロビック	FLAT BACK	山内 貴公美	長島町
第43回全国中学校スケート大会	スピードスケート	岩邑中学校	鈴木 涼介	岩村町
		岩邑中学校	森川 凌羽	岩村町
		岩邑中学校	遠山 幸之助	岩村町
		岩邑中学校	阪上 天心奏	岩村町
		岩邑中学校	鈴木 優歌	岩村町
		明智中学校	伊藤 丸駆	明智町
		恵那東中学校	西尾 健吾	大井町
		岩邑中学校	伊藤 未来	岩村町
特別国民体育大会冬季大会「未来へつなぐ八戸国体」スケート競技会（スピード）	スピードスケート	恵那スケート場クラブ	光岡 知成	武並町
		恵那市体育連盟	石川 将之	三郷町
		恵那市体育連盟	遠藤 二千翔	三郷町
		明治大学	伊藤 海里	山岡町
		日本大学	遠藤 壮	三郷町
		山梨学院大学	大窪 優太	大井町
		中京高等学校	鈴木 義人	岩村町
		中京高等学校	細井 勇大	岩村町
		恵那農業高等学校	田口 陽基	武並町
		恵那農業高等学校	伊藤 愛	岩村町
		恵那農業高等学校	西尾 義靖	岩村町
		岩邑中学校	阪上 天心奏	岩村町
		岩邑中学校	鈴木 優歌	岩村町

報告3 公共施設予約システムの導入について

1. 概要

いつでも、どこからでも施設予約や予約状況の確認ができ、市民生活の利便性向上に寄与する公共施設予約システムを導入する。

2. システム利用施設数

62施設（スポーツ施設、学校開放施設、コミュニティセンター、文化施設）

3. 予約サイト

市ウェブサイトのシステム予約案内ページから利用

4. 使用料の支払い

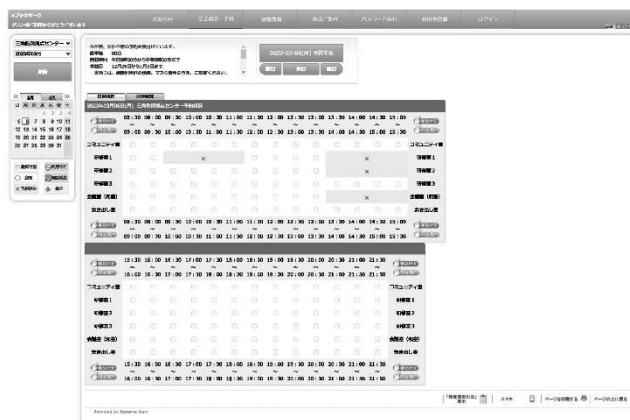
キャッシュレス決済（クレジットカード等）も可能とする。

5. 運用スケジュール

- ・ 4月1日～ 利用者登録受付開始
- ・ 5月1日～ システムによる予約状況公開
- ・ 6月1日～ システムを利用した予約開始（3ヶ月先まで）
- ・ 8月1日～ システムを利用した抽選予約開始（10月使用分）

6. その他

これまでの窓口での予約、料金の支払いについては、引き続き実施する。



イメージ図：システム予約画面

報告4 令和5年度の主な取り組みについて

1. 健康づくり

●エーナ健幸ポイント〈継続〉

・紙面での申し込みの他に、市公式アプリ「え～なび」から手軽に申し込める仕組みを追加する。
・岐阜県が実施している、「清流の国ぎふ健康・スポーツポイント事業」を周知し、エーナ健幸ポイントへの参加だけでなく双方の事業を活用し、ポイントや賞品の獲得等さまざまな特典が得られることで、より楽しみながら健康づくりに取り組める環境を提供する。



2. 子どもの健全育成

●こども園運動プログラム〈継続〉

・「こども園運動プログラム」は、25m走、立ち幅跳び、テニスボール投げ、握力等園児の体力測定を行い、園レベルの弱点を見出し、その弱点に対する園ごとの運動遊びを提供し、引き続き運動能力の向上に取り組んでいく。
・運動遊び交流会として、親子での運動遊びを全14園で実施し、家庭でも親子で楽しみながら運動に取り組めるという意識を高めていく。



「親子運動遊びの様子」

●オリンピックによるかけっこ教室事業〈継続〉

・100m走元日本記録保持者でありオリンピックでもある、青戸慎司氏によるかけっこ教室を引き続き開催する。
・令和4年度から全小学校の授業の中で主に4、5年生を対象に実施する教室と、市内小学生を対象に公募による教室を開催し、走り方の基礎を学ぶ。



「かけっこ教室の様子」

●子どものスポーツ能力測定会の実施〈継続〉

・健幸フェスタにて、希望する市内小学生を対象にしたスポーツ能力測定会を実施し、自分に合ったスポーツや練習方法を見つける。

3. コミュニティづくり

●スポーツ団体PR事業（継続）

・認定生涯学習活動団体及び恵那市体育連盟加盟団体の活動状況やPR等の情報を恵那市ウェブサイトに掲載し、市民の加入促進を図る。

市内スポーツ団体の会員募集				
※表には多くは多くのスポーツ団体のあり、掲載は継続して行います。 ※加入したい団体があった場合は、団体の代表者等に問い合わせることで、(2)の団体の連絡先までご連絡をお願いします。				
【会員募集中のスポーツ団体一覧】				
番号	団体名	種別	活動日時	詳細情報
1	○○ボート クラブ	ボート	毎月第1、3 土曜 午後1時30分 から	http://www.oooo.co.jp
2	△△バレー ボール	バレーボール	毎月第1、3 土曜 午後7時から	http://www.oooo.co.jp
3	▲▲マラソン	マラソン	毎月第1、3 土曜 午後7時から	http://www.oooo.co.jp
4	◇◇テニス	テニス	毎月第1、3 土曜 午後7時から	http://www.oooo.co.jp
5	□□卓球	卓球	毎月第1、3 土曜 午後7時から	http://www.oooo.co.jp

市ウェブサイト掲載イメージ

4. 観光交流

●オリンピックによるスケート教室事業（継続）

・令和6年1月8日オリンピックゴールドメダリストである小平奈緒氏による、スケート教室及び講演会を開催し、スケートの普及推進とクリスタルパーク恵那スケート場の知名度向上につなげる。



「小平 奈緒氏」

●スポーツ合宿誘致事業（継続）

・笠置峡ボート・カヌー場のPR動画、パンフレットを配布し、国内の実業団、大学のボート、カヌー部等を対象に誘致を行う。
・恵那市のスポーツ施設や観光地を掲載した、スポーツ合宿誘致用チラシを作成、配布し、恵那市の魅力を発信する。

●笠置峡水上スポーツ教室事業（継続）

・東京2020オリンピックポーランドカヌーチームによる事前キャンプが行われた笠置峡ボート・カヌー場にて、ボート、カヌー、サップ教室を開催し、水上スポーツの普及と笠置峡の知名度の向上を図る。



「水上スポーツ教室の様子」

5. 競技力向上

●オリンピックによるスプリント教室の開催（新規）

・かけっこ教室の講師でもある、日本人男子初、夏冬オリンピック出場の青戸慎司氏による中学生陸上部を対象としたスプリント教室を開催する。

●大学との連携による専門スポーツ教室事業（継続）

・中京学院大学等近隣大学運動部と連携し、中学生を対象にしたスポーツ教室を開催し、競技力の向上を目指す。



「ソフトボール教室の様子」